



たきざわ

えがお いっぱい たきざわ小

- わかるまで考える子
- 思いやりのある子
- 元気で活動する子

第 15 号

令和7年9月22日(月)

夏の暑さがようやく過ぎ、朝夕は涼しい秋風を感じる今日この頃です。9月は、各学年とも校外学習で出かける機会が多いです。今号も、子どもたちの校外学習の様子を中心にお知らせします。

実りの秋 稲刈り体験

5年生が5月に植えたお米の苗が、立派な稲となって実り、16日(火)に米の収穫を行いました。当日は、田植えのときと同じようにJ Aいわて平泉のみなさんにお世話をしていただきながら、みんなで稲刈りに取り組みました。

稲を刈る人、束ねる人、運ぶ人と分担して作業を進め、稲の束は、運んだ先から田んぼの先生が「ほによ」に掛けていきました。数日前に降った雨で田んぼがぬかるんでいたため足を取られて動きにくいところもありましたが、みんなで協力して手際よく作業を行うことができました。

今は、スマート農業の時代。手作業で稲刈りを行うというところはあまりないと思いますが、この稲刈り体験を通して、昔の農家の人々の苦労を知るとともに、収穫の喜びを味わうことができました。

難しくないと思っていたけど、やってみたら結構大変な作業でした。



機械化されて、ずいぶん便利で楽になったこともわかりました。



最後に、大事なお米なので1本も残さず穂を拾いました。



待ちに待った校外学習

17日(水)、1年生は、生活科の学習でArk 館ヶ森に行ってきました。1年生にとって初めての校外学習。2学期になって上級生が校外学習に出かけるのを見て、「自分たちも早く行きたいなあ。」と思いながらとても楽しみにしていました。ポニーやヤギなどとのふれあいを通して動物に親しんだり、校外での活動を通して望ましい団体行動の仕方を学んだりしました。雨模様だったのが少し残念でしたが、お昼に、おうちの人が作ってくれた愛情いっぱいのお弁当を食べて大満足の1年生でした。



なぜ平泉が世界遺産に？

18日（木）、6年生は、総合的な学習の時間「世界遺産『平泉』に学ぶ」の学習で、県南教育事務所社会教育主事の花輪忠紘先生をお招きし、「なぜ平泉が世界遺産に登録されたのだろう」を学習テーマに講義を受けました。黄金文化の礎となった奥州藤原氏が四代に渡り「仏教で平和な平泉にしよう」と願った浄土思想や、その浄土思想に基づく寺院や庭園などが現在まで残されていることが評価され、平泉は世界遺産として認められたということを学びました。

26日（金）には、中尊寺と毛越寺に出かけ、実際に寺院や庭園などを見て学びを深めます。



レクタイムマラソン開始

今日から、レクタイムマラソンが始まりました。ペースランニング記録会に向け、体力と持久力の向上をねらいとした取組です。取組期間中に、低学年60周、中学年80周、高学年100周を目標にがんばります。レクタイムマラソンは、ペースランニング記録会前日の10月28日（火）まで行います。ご家庭でも、お子さんの体調管理や励ましなどお願いします。

学校支援ボランティア活動

学校では、学校支援ボランティアの方々に子どもたちの学習や活動のサポートをしていただいています。1学期には、交通安全教室、運動能力テスト、5年家庭科実技（手縫い）でご協力いただきました。9月は、5・6年家庭科実技（ミシン縫い）でご協力いただいているところです。丁寧に教えてくれたり、サポートしてくれたりするので、子どもたちは、安心して作品制作を進めることができます。また、以前もご紹介しましたが、通年（毎月2回程度）で読み聞かせボランティアの方々にもお世話になっています。子どもたちは、この読み聞かせをいつも楽しみにしています。ボランティアのみなさん、ありがとうございます。



東海林栄四郎さん提供

いつも、四季折々の植物や創作品を校長室前廊下の棚に展示してくださっています。今回の展示品は、ススキの穂で作ったミミズクです。秋を感じますね。

